

★2021年5月15日(土)

～サクスは、遂にここまで来た!～

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

「ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット」は、“サクス界の革命児”平野公崇さんが同じ音楽的志向を分かち合える仲間であり、ソロ・トップ・プレイヤーとしてもそれぞれ活躍する奏者と共に結成したサクス四重奏団です。結成以来各地で公演を行ったり、「ファースト・ブルー」「Blue BACH」「和樂」といった数々のCDをリリースしたりと精力的に活動されています。クラシック作品はもとより、ジャズ・テイスト、即興等を取り入れた多彩なプログラムで会場を沸かせ、新たなファンを獲得しています。

コンサート第1部ではバッハ“平均律クラヴィア曲集”より「第2巻 第1番」、チャイコフスキー“四季 作品37”より「1月 炉端にて」「4月 松雪草」「7月 草刈り人の歌」、ベートーヴェン“ピアノ・ソナタ”より「第14番 月光」といったクラシックの名曲に所々アレンジを交え、演奏していただきました。第2部では雰囲気を変え、聞きなじみのある日本民謡を平野さんがアレンジした「津軽じょんがら節」「ていんさぐぬ花」「江戸の子守唄」「ずいずいずっころば



ひらの まさたか
平野 公崇さん(ソプラノ)

たなか たくや
田中 拓也さん(アルト)

ほんどう まこと
本堂 誠さん(バリトン)

かとう さとし
加藤 里志さん(テナー)

し)や平野さんのオリジナル曲「東風」などを披露していただきました。

ご来場のお客様は、まるで目の前に情景が浮かぶかのような4人の息の揃った熱い演奏に合いの手を入れ、感染症対策を行うなかでも出演者との一体感を楽しまれました。

